

第12回アジアドラゴンボート選手権大会参加について

スモールドラゴンボート日本代表（海猿火組） 菊地 康介

2016年3月26日から31日までの間、オーストラリア・アデレードにおいて開催された第12回アジアドラゴンボート選手権大会に、スモールドラゴンボート日本代表として海猿火組の15名が参加しました。

私たちにとっては初めての国際大会で、不慣れなことが多いなか、JDBA 菖蒲様をはじめ関係者の皆様から多大なご支援を頂き、過日、全員無事帰国することができました。

また、皆様からたくさんの応援を頂きありがとうございました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

今大会につきまして、下記のとおりご報告させていただきます。

記

1. スケジュール概要

- 3月26日 出国
- 3月27日 現地入り
- 3月28日 受付、監督者会議、練習
- 3月29日 大会一日目（開会式、500m レース）
- 3月30日 大会二日目（200m レース）、レセプション
- 3月31日 帰国

2. 大会参加国

オーストラリア, 中国, 香港, インド, インドネシア, 日本, マカオ, フィリピン, シンガポール, 台湾（10カ国）

3. 大会を通して

私自身が感じたことは『仲間の大切さ』と『己の未熟さ』です。はじめての国際試合ということでみんな緊張していたものの、普段通り声をかけあい意識を高めたことで怖がることなくレースに臨めました。

レースの闘い方が国内と少し違うこともあり、レース毎に確認が必要でしたが、その甲斐があり、2日目には自分たちの漕ぎができました。まだまだ努力が足りないと痛感しましたが、この大会を経験したことで、世界で勝つために、さらに伸ばしていくところや補っていくところなど、レベルアップのために何が必要なかを考えてトレーニングに励まなくてはいけないということが分かりました。

今後より一層の努力をし、チーム全体のレベルアップをはかりたいと思います。

また、チームで一番苦勞したことは、メンバーの選定でした。年度末ということもあり、かなりギリギリまで難航しましたが、最終的には自身のクラブのメンバーで行けたことが、今後につながる収穫の一つとなりました。

4. 大会こぼれ話

○3月26日 出国

22時という遅くのフライトにも関わらず、他のチームの方や多くの方に見送りに来ていただき、チームの士気が高まりました。



見送りの方と



選手の出国

○3月27日 現地入り

シドニー経由でアデレード到着。空港ではホテルまでのチャーターバスがなかなか来ず、探し回り聞きまわること30分弱、諦めかけてタクシーに乗ろうとしたところにバスが到着。運転手は何事もなかったかのようにホテルまで運転しました。「これが海外か」と思いましたが、バスの遅刻はこの一本だけで、他のチャーターバスはすべて10分以上早く来てくれました。前回の世界大会のお話と比べると日本と変わらないくらいきっちりしていました。

ようやく滞在ホテルチェックイン。チェックインするなり、火災警報が作動し地元消防隊からの熱い歓迎？を受けました。

ホテルはアデレード中心街から少し北の静かな場所に位置し、近くには公園もあり、ジョギング等の軽い運動をするのに最適でした。また、近くにはスーパーがあり、7時から22時まで開いているので、水や食料の調達に困ることはありませんでした。



ホテル周辺の公園



滞在ホテル外観

○3月28日 受付、監督者会議、公式練習、アデレード観光

8時に会場入りし受付をした後、11時から監督者会議に出席、13時から練習でした。

心配していたIDの取得は親切な現地の事務局の方の対応により、会場入り直後に問題なくもらえました。しかし、監督者会議については本部に何度か確認に行くも「知らない」との回答。お昼近くなり、再度本部に確認にいくと、たまたま居合わせた他国の選手が知っていて教えてもらいました。

練習はレース艇を使用しての調整ができ、また他国の漕ぎを見ることができ良い刺激を受けた時間でした。

練習終了後アデレード中心部へ観光に向かいました。しかし、イースターマンデーでほとんどのお店が休業。唯一やっていた土産店でお土産を買い、街並みを見ながら帰りました。



アデレード中心部散策



集合写真

○3月29日、30日 大会

開会式は各国代表が国旗を持っての入場行進から始まり、ADBFの方々や来賓の挨拶に続き、入魂（龍の目入れ）式がありました。写真を見るとわかるように日本の国旗は小さかったです。各国ともブリテンに指定されているサイズよりかなり大きなものを用意していました。

大会会場の湖の周辺は高級住宅街で湖畔にはウォーキングコースが整備され、きれいな芝生もあり気持ちよくウォーミングアップができました。



開会式の様子



会場周辺の芝生でウォーミングアップ

○3月30日 セレブレーションパーティー

全出場国が出席とはいきませんでしたでしたが、出席国とのユニフォーム交換など国際交流ができ、大変刺激を受けました。ユニフォーム交換はレース終了直後から始まっており、日本のブルーのユニフォームは人気で、ほぼ全員が交換を求められました。また、チームオリジナルの背中に「漕」という字が入ったTシャツ（通称、漕ぐT）も大人気で、香港？台湾？の女子は交換すると、まるでアイドルと握手をした時のような奇声をあげて喜んでいました。また「海猿火組」のロゴも大人気でした。日本のTシャツの人気度は出場国 No.1 でした。



レセプション会場の外観



ユニフォーム交換



レセプション会場の様子



集合写真

以上